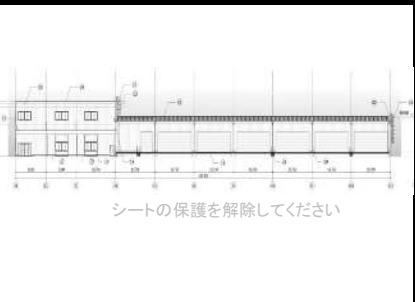


| 1-1 建物概要 |                       | 1-2 外観 |                          |
|----------|-----------------------|--------|--------------------------|
| 建物名称     | (仮称)佐川急便小田原営業所 新築工事   | 階数     | 地上2F                     |
| 建設地      | 小田原市鬼柳146-2外          | 構造     | S造                       |
| 用途地域     | 工業地域・防火指定なし           | 平均居住人員 | 65 人                     |
| 地域区分     | 6地域                   | 年間使用時間 | 3,000 時間/年(想定値)          |
| 建物用途     | 事務所・工場                | 評価の段階  | 実施設計段階評価                 |
| 竣工年      | 2022年1月 予定            | 評価の実施日 | 2021年2月19日               |
| 敷地面積     | 12,566 m <sup>2</sup> | 作成者    | 大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所 |
| 建築面積     | 4,016 m <sup>2</sup>  | 確認日    | 2021年2月19日               |
| 延床面積     | 4,580 m <sup>2</sup>  | 確認者    | 大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所 |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

**標準計算**

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項  |   |  |
|---|---|--|
| <b>総合</b><br>県道711号線に接続する幹線道路沿いの工業地域に、事務所及び工場の複合用途の建物を周囲の調和を図りつつ計画をした。          |   | <b>その他</b><br>-  |
| <b>Q1 室内環境</b><br>事務所の自然換気有効開口面積は、床面積の1/15以上である。                                | <b>Q2 サービス性能</b><br>耐用年数の長い内装材及び空調・給排水配管を採用している。                          | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>0                                       |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>BPI <sub>m</sub> =0.62、BEI <sub>m</sub> =0.63<br>LED照明設備を導入 | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>自動水栓、節水型便器の採用<br>躯体+軽鉄+仕上材のティールを採用し、OA707-も採用している。 | <b>LR3 敷地外環境</b><br>ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率79%<br>燃焼機器の使用無し |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される